

2026年3月4日

報道関係者各位

三井不動産株式会社
株式会社三井不動産ホテルマネジメント

三井ガーデンホテルズ・sequence Apple ウォレットを利用した宿泊者向けルームキーサービスの提供開始 iPhone や Apple Watch をタップするだけで、シームレスかつ安全に客室へのアクセスが可能に

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:植田 俊、以下「三井不動産」)および株式会社三井不動産ホテルマネジメント(本社:東京都中央区、代表取締役社長:杉山 亮)は、2026年3月4日(水)より、三井ガーデンホテル銀座プレミアおよび sequence MIYASHITA PARK、sequence SUIDOBASHI にご宿泊のゲストを対象に、Apple ウォレットでのルームキーの取り扱いを開始いたします。Apple ウォレットのルームキーがあれば、ゲストが iPhone や Apple Watch をタップするだけで、ゲストルームはもちろん、ホテル内の共用スペースやエレベーターなど、ホテル内施設の解錠が可能になります。



※画像はイメージです。

Apple ウォレットのルームキーは、ゲストのセキュリティとプライバシーを守りながら、チェックインからチェックアウトまで、簡単でコンタクトレスな体験を提供します。Apple ウォレットにルームキーを追加してアクティベートし、ドアの NFC 対応ロックにデバイスをかざすと、キーカードで保護されたエリアにシームレスにアクセスできます。エクスプレスモードなら、Apple ウォレットのルームキーを使用する際にデバイスのロックを解除する必要はありません。デバイスをリーダーにかざすだけでドアを解錠できます。iPhone の充電が必要な時でも、自動予備電力機能により、ゲストルームや共有エリアのロックを解除することができます。

このサービスでは、Vingcard のセキュリティアクセスソリューションを活用しており、チェックインプロセスを効率化するとともに、物理的なルームキーや別のアプリを開く必要をなくすことで利便性を向上させます。これにより、これまで以上にスムーズなホテル体験を提供するだけでなく、プラスチック製ルームキーの使用を削減することで、より環境に優しい滞在を実現します。

Apple ウォレットにルームキーを追加するのはとても簡単です。事前手続きを完了した後、MGH Rewards Club アプリから Apple ウォレットにルームキーを追加します。追加すると Apple ウォレットのルームキーが更新され、チェックイン可能なタイミングをお知らせします。ゲストがチェックインし、部屋の準備が整うと、Apple ウォレットのルームキーがアクティベートされ、ゲストの部屋番号を表示し、すぐに使用できるようになります。ルームキーは、ゲストがホテルにチェックインし、部屋が割り当てられるまでは有効になりません。

ゲストが部屋を変更したり、滞在を延長したり、レイトチェックアウトを希望する場合、ホテルのスタッフにリクエストすることで、Apple ウォレット内のゲストのルームキーを更新することができます。チェックアウトも、MGH Rewards Club のアプリから簡単に行えます。チェックアウト後は、Apple ウォレットにあるゲストのルームキーは自動的に無効化され、Apple ウォレットにアーカイブされます。Apple ウォレットのルームキーはデバイスに保存され、iPhone と Apple Watch に組み込まれたプライバシーとセキュリティを最大限に活用することができます。ゲストがいつ、どこで Apple ウォレットのルームキーを使用したかについては、Apple と共有されることはなく、Apple のサーバー内に保存されることもありません。ゲストが iPhone や Apple Watch を紛失した場合、「探す」アプリを使えば、すぐにデバイスをロックし、ルームキーを無効化することができます。

Apple ウォレットのルームキーは、Vingcard の NFC 対応ドアロックと Vostio Access Management ソリューションでサポートされています。Vostio Access Management ソリューションは、セキュリティアクセス業務を効率化し、最新の暗号化技術を使用してゲストルームの割り当てとゲストデバイスへのデジタルルームキーを発行するクラウドベースのシステムです。これには、米国国立標準技術研究所（NIST）により規定された、デジタル化されたサービスに推奨される暗号化標準を各施設が採用できるようにする、クラウドベースのサービスである MIFARE 2GO の統合仕様が含まれます。

「Vingcard は、優れたサービスを反映した最先端技術の導入という三井不動産グループの目標の達成を支援できることを光榮に思います。」と、SVP 兼ホスピタリティ部門責任者の Li Wang 氏は述べています。「三井不動産グループによる Apple ウォレットのルームキーの導入は、当社の Vingcard ドアロックと Vostio Access Management システムによって実現されたもので、安全で快適なホテル体験をお約束します。三井不動産グループは当社の技術を活用することで、ホテルのセキュリティを強化するとともに、ホテル滞在中に発生するあらゆる問題を取り除くことができます。ゲストはよりスムーズで満足のいく体験をお楽しみいただけるでしょう」。

三井不動産は、クラウドベースの Vostio Access Management ソリューションを各拠点に導入することで、コストのかかるオンサイトのサーバーを利用することなく、Apple ウォレットのルームキーを活用できます。このソリューションは簡単に更新が可能で、進化するセキュリティリスクに対する保護を提供する自動ソフトウェアアップデートの受信に加え、新しい統合機能や他の機能の導入を促進することもできます。

Apple ウォレットのルームキーは、MGH Rewards Club アプリより発行することが可能です。サービス詳細はこちら <https://www.mitsuidosan-hotelmanagement.com/service/express-entry/walletroomkey/> をご覧ください。

■ 同サービス導入ホテル

- ・三井ガーデンホテル銀座プレミア
- ・sequence MIYASHITA PARK
- ・sequence SUIDOBASHI

※2026年3月4日現在の導入対象ホテルです。

※三井ガーデンホテルズ・ザ セレスティンホテルズ・sequence 各ブランドにて対象ホテル順次拡大予定です。

※Apple、iPhone、Apple Watch は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

※iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

■ MGH Rewards Club アプリ

MGH Rewards Club は、日本のザ セレスティンホテルズ、三井ガーデンホテルズ、sequence、台湾の MGH Mitsui Garden Hotel 台北忠孝でご利用いただける会員制プログラムです。予約やポイント交換などの機能に加え、快適な滞在をサポートするモバイルリクエスト機能やクーポンキャンペーンなど便利な機能も充実。

Apple ウォレットルームキーの導入により、ゲストはチェックインからチェックアウトまで、物理的なキーを持ち歩くことなく、iPhone や Apple Watch を使ってゲストルームのキーを解錠することができます。

■ 三井不動産のホテルブランド



三井ガーデンホテルズは、「ガーデンのような豊かさと潤いのある滞在体験を提供したい」という想いから、「Stay in the Garden」をブランドタグラインに掲げ、国内外に 34 の施設を展開しています。全国各地の特色を大切にしながら、ビジネスユースに限らず、レジャー旅行、保養、リフレッシュ、長期滞在など、さまざまなシーンで楽しんでいただけるよう、個性豊かなデザインと「ゲストが楽しみになる朝食」をご用意しております。

また、三井不動産ホテルマネジメントは、宿泊を目的としたデスティネーション型ホテルとして「ザ セレスティンホテルズ」3 施設と、「自由な時間と過ごし方」を自分のスタイルで楽しめる次世代型ライフスタイルホテル「sequence」3 施設を展開しています。三井不動産ホテルマネジメントは、「記憶に残るホテル」「感性豊かなお客様の五感を満たすホテル」という理念とコンセプトのもと、多様なニーズに応えるブランドで皆様をお迎えいたします。

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY(重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

「グループ長期経営方針」<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

「グループマテリアリティ」https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/